

ころ
転んでけがをしちゃった！
でもけがで車椅子を使って
いたら、いろいろなことに
きがついたんだ。



きょうせいしゃかい
「共生社会」って言うんだけど、
くるまいす かざ よ なか
車椅子に限らず、世の中には、
いろいろな人がいて、
ひとりひとり ほこ
一人一人が誇りをもって生活できるような
しゃかい
社会にしていかなきゃいけないんだよね。

けがをしたカナナちゃん
に一体何が…!

→くわしくは
こちらから



https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f6880/barrierfree_leaflet.html

けんみんかいぎ けんみん じぎょうしゃ ぎょうせい きょうどう
県民会議では、県民、事業者、行政が協働して、
ともに生きるための社会づくりに取り組み、
「みんなで創るバリアフリーの街づくり」を
ていあん
提案をしています。



けんみんかいぎ ていあん はしら
＜県民会議からの提案の5つの柱＞



くわしくはこちら

- ・ けんみんかいぎ ていあん
県民会議からの提案
- ・ みんなのバリアフリー街づくり条例 (じょうれい)
- ・ バリアフリーをとりまく国の動向 (どうこう)



お問い合わせ

かながわけん まち すいしんけんみんかいぎじむきょく
神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議事務局
(神奈川県地域福祉課)
てんわ
電話 045-210-4748
FAX 045-210-8874

ホームページはこちら

かながわけん けんみんかいぎ
神奈川県 バリアフリー県民会議

けんさく 検索

スマホからは
こちら



令和4年11月 発行

誰ひとり取り残さない ともに生きる社会に向けて ～バリアフリーとSDGs～

みんなが生きやすい街に
なるといいね。
急がずにゆっくり歩いて、
いろんなことを知っていこ
うね。

まちのバリア
体験隊に私も
参加したいな。



お母さん

カナナちゃん

～県民会議からの提案～

みんなのリーフレット

「神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議」
では、ともに生きる社会に向けて、誰もが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に
参加できる街づくり（バリアフリーの街づくり）
を進めています。

カンナちゃんが住む街にはたくさんのバリアがありました。いくつ探せるかな？



わあ〜！こんなことがあるんだね。これまで気がつかなかったな。みんなは気づくかな？吹き出しにもセリフをいれてみよう！



1 エレベーター
エレベーターでないと移動できない人がいます。
☞ 心ない言葉や態度、見て見ぬふりをする人によって、スムーズに移動できないバリアが生まれます。

2 バリアフリートイレ
車椅子やオストメイト(※)、乳幼児連れの人、手助けが必要な人等が使えるように作られたトイレです。また、見た目でも分かりづらくても、このトイレが必要な人もいます。
☞ このトイレでなくても用をたせる人がこのトイレを使うと、このトイレしか使えない人が困ります。※ 人工肛門・人工膀胱を持っている人

3 段差
4 階段
お店の前などに段差があると入れない人がいます。段差があると足や車輪が引っかかってしまい危険です。
☞ でもなぜ段差があるのでしょうか。また、絵には通れている人もいます。バリアはどこに(いくつ)あると思いますか。

5 観劇・鑑賞
情報の伝え方が不十分なため、人によっては必要な情報が得られない場合があります。視覚障害や聴覚障害の人は、たとえば、文字表示だけ、音声アナウンスだけでは、情報を得られません。そのことで、日常生活の困難さはもちろんのこと、講演会・展覧会・お芝居等も十分に楽しめません。
☞ 字幕・手話通訳・音声・点字等、その人に合った情報の伝え方やコミュニケーションが求められます。

6 補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)
障害のある人が自立と社会参加をするための大切なパートナーです。
☞ 法律(※)で、お店や施設は、補助犬の同伴を断ることはできないと定められています。※ 身体障害者補助犬法

7 試験
社会のルールや制度によって公平に試験や研修を受けさせてもらえない場合があります。
☞ 試験、就職や、住む場所を借りるなど、さまざまな場面で、公平な機会を与えてもらえないバリアがあります。

世の中にはいろんな人がいるけど、大多数の人に合わせた作られた社会環境には、まだまだバリアがあるんだね。
けがをしたからこそ、わかったことかもしれない。みんなお互いの違いを尊重してみんなと一緒に過ごせるようにしていきたいね。
そのために、身近な地域で自分ができることは何だろう。考えて、行動してみようっ！



【4つのバリア】物理的なバリア：公共交通機関、道路、建物などにおいて、利用者に移動面で困難をもたらす物理的なバリアのこと。 制度的バリア：社会のルール、制度によって、障害のある人が能力以前の段階で機会の均等を奪われているバリアのこと。 文化・情報面でのバリア：情報の伝え方が不十分であるために、必要な情報が平等に得られないバリアのこと。 意識上のバリア：周囲からの心ない言葉、偏見や差別、無関心など、障害のある人を受け入れないバリアのこと。